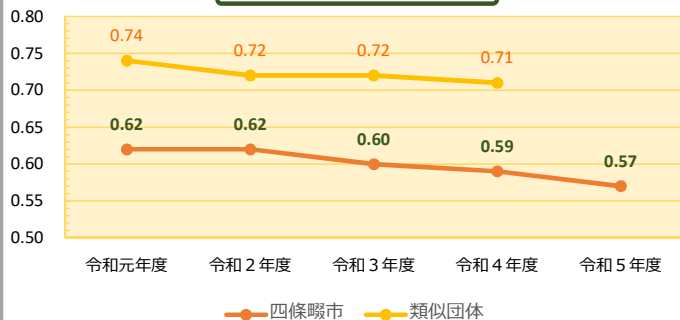


～財政指標について～

【 財政力指数 】

単位：％



財政力指数とは、
市の財政力を示す指標で、
基準財政収入額÷基準財政需要額の
過去3年間の平均値のことです。
財政力指数が高いほど、
財源に余裕があるといえます。
四條畷市は法人基盤が弱いことなど
から平均値より低くなっています。

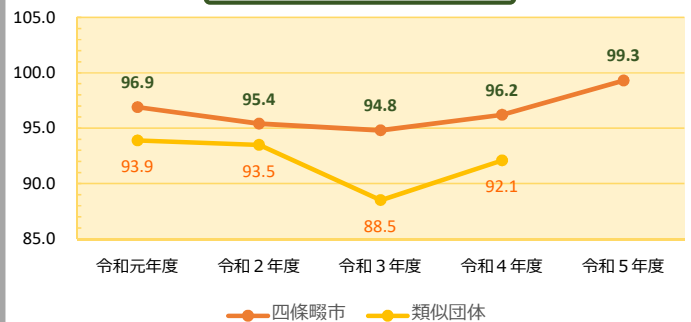
改善できるように
取組んでいるよ



経常収支比率とは、地方税や
普通交付税のように使い道が特定
されていない経常的に収入するお金のうち、
人件費や扶助費のように経常的に支出する
お金が占める割合のことです。
この比率が高いほど市が自由に使用
できるお金が少ないことを示しています。

【 経常収支比率 】

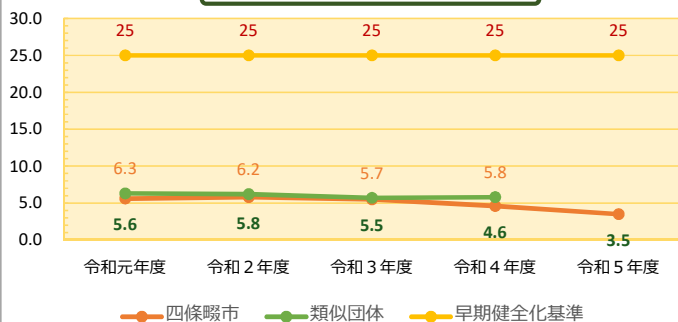
単位：％



実質公債費比率とは、
一般会計等が負担する元利償還金等の、
標準財政規模に対する比率の
過去3年間の平均値です。
計画的に市債の発行をしているので、
平均値より低くなっていて、
高くならないように注意しています。

【 実質公債費比率 】

単位：％



将来負担比率とは、市が将来負担すべき
実質的な負債の標準財政規模に対する
比率のことです。
将来財政を圧迫する可能性の度合いを
示す指標ともいえます。

四條畷市は、将来負担見込み額が、
基金などの充当可能財源より少ない
ことから比率が算定されていません。

【 将来負担比率 】

単位：％



～基金・市債について～

【 基金残高の推移 】

単位：百万円



基金とは、市の貯金のことです。

使い方が決まっていない「財政調整基金」や、目的を決めて貯めている「特定目的基金」などがあります。

四條畷市は、公共施設の老朽化に備えて「公共施設整備基金(特定目的基金)」を貯めたりしています。

基金残高を他の市と比べてみると…？

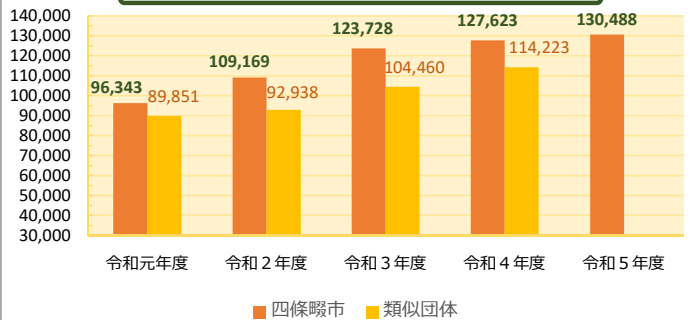


基金の金額を、住民の人数で割って、一人あたりの残高を計算してみました。

計画的に貯めて、事業をするときや災害時などにも対応できるようにしています。

【 住民一人あたりの基金残高 】

単位：円



市債とは、学校や道路など、

たくさんお金がかかる建設事業をするときに、国や銀行などから借りたお金のことです。

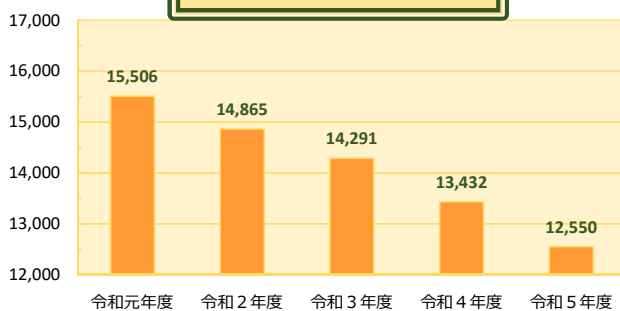
未来にその施設などを利用する人も「借入金の償還」という形で税負担して、世代間の公平を図っています。



住民一人あたり、どれくらい残高があるかみてみましょう。

【 市債残高の推移 】

単位：百万円



市債の金額を、住民の人数で割って、一人あたりの残高を計算してみました。

未来、老朽化した公共施設の更新など、沢山お金が必要になることに備えて、繰り上げてお金を返したり、市債の発行を計画的に行って、将来負担を減らしているからです。



【 住民一人あたりの市債残高 】

単位：円

